

平成26年度 一般会計予算。 各特別会計予算。

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計及び特別会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月3日から5日までの3日間、特別会計は3月6日に審査が行われました。

定例会最終日には、虻川浩一般会計予算特別委員長と小林洋子特別会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業特別会計は全会一致で、国民健康保険事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計は賛成多数で可決されました。(3面に「議案に対する各会派の賛否」を掲載)

市長の提案説明の概要と、一般会計予算特別委員会における各会派の総括質疑の要旨は以下のとおりです。

【一般会計】

予算総額は59億1,780万円、前年度の補正予算(第2号)肉づけ後の予算に比べ2.4%、13億

	26年度 予算額	25年度 予算額	伸び率	
一般会計	59,178,000	57,779,488	2.4	
特別会計	国民健康 保険事業	17,739,000	17,676,000	0.4
	後期高齢 医療	3,709,000	3,454,000	7.4
	介護保 険事業	11,780,000	10,972,000	7.4
	水道 事業	4,068,000	4,293,000	△5.2
	合計	96,474,000	94,174,488	2.4

※平成25年度一般会計予算額は、当初予算額564億7,000万円に補正予算(第1号)の3,000万円と補正予算(第2号)の12億7,948万8,000円を加えた額

9千8百51万2千円の増となっております。事務事業の見直しや行財政再構築の取り組み等により事業費を捻出しながら、限られた財源の中でより効果的、効率的な事務執行を行うことにより必要な事業を実施します。

【歳入】市税のうち法人市民税は約6億3千8百万円の増、個人市民税は約2億8千2百万円の増、固定資産税・都市計画税は約2億5千3百万円の増と見込んでいます。普通交付税は6億4千3百万円の大幅な減を見込んでいます。財源の確保策としては、臨時財政対策債の借り入れ及び財政調整基金からの繰り入れにより対応します。

【歳出】公債費の減少等がある一方で、民間保育園の運営費や障害者自立支援給付費、生活保護費、特別会計への繰り入れ等が増加しています。

【国民健康保険事業特別会計】予算総額は77億3千9百万円で、前年度予算に比べ0.4%、6千3百万円の増となっております。

【歳入】保険料のほか、法定負担である国庫支出金、支基金交付金、都支出金、一般会計からの繰入金等を計上しました。

【歳出】保険給付費を7.6%、7億9千6百万円の増で計上したほか、介護認定審査等の介護保険事業の運営に要する経費等を計上しました。

【下水道事業特別会計】予算総額は40億6千8百万円で、前年度予算に比べ5.2%、2億2千5百万円の減となっております。

【歳入】前年度予算に比べ下水道使用料は2.9%、6千2百万円の増、一般会計繰入金金は14.4%減の13億7千万円となっております。

【歳出】小平市下水道プランの重点施策となる合流式下水道改善対策、浸水対策、施設の老朽化対策等を中心とした事業を実施します。

国民健康保険事業運営基金を最大限の1億3千万円取り崩し、収支の均衡を図ります。

【歳出】保険給付費の予算額は、厳しく見込んで、前年度比0.4%の減で計上しましたが、保険給付費自体は引き続き増加しています。

【後期高齢者医療特別会計】予算総額は37億9百万円で、前年度予算に比べ7.4%、2億5千5百万円の増となっております。

【歳入】保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものとなります。

【歳出】広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費などを計上しています。

後期高齢者医療の対象者数は前年度に比べ、約1千人増の2万1千人を見込んでいます。

【介護保険事業特別会計】予算総額は17億8千万円で、前年度予算に比べ7.4%、8億8百万円の増となっております。

【歳入】保険料のほか、法定負担である国庫支出金、支基金交付金、都支出金、一般会計からの繰入金等を計上しました。

【歳出】保険給付費を7.6%、7億9千6百万円の増で計上したほか、介護認定審査等の介護保険事業の運営に要する経費等を計上しました。

【下水道事業特別会計】予算総額は40億6千8百万円で、前年度予算に比べ5.2%、2億2千5百万円の減となっております。

【歳入】前年度予算に比べ下水道使用料は2.9%、6千2百万円の増、一般会計繰入金金は14.4%減の13億7千万円となっております。

【歳出】小平市下水道プランの重点施策となる合流式下水道改善対策、浸水対策、施設の老朽化対策等を中心とした事業を実施します。

一般会計予算に対する 各会派の総括質疑(要旨)

質問 ①市長が目指す参加のあり方とは何か。
②いじめ問題や特別支援教育など、現在の教育が抱えている課題に対し、市は今後どう取り組んでいくか。

答弁 ①従来の公共サービスの担い手である行政だけではなく、地域のことは地域で解決し、互いに支え合う仕組みが必要と考えており、平成26年度は学園西町整備しながら取り組んでいく。

質問 ①現在の予算編成過程の公表では、どのような査定を経て予算案ができたのか全くわからない。どこまで過程を公表するつもりなのか、その基本的な考えを伺う。

答弁 ②都市農地等の緑を守り、農業経営を支えるための施策をどう進めていくのか。

答弁 ①編成中の予算は流動的で不確定な状況にあり、

質問 ①財政基盤の強化はどの程度進んでいるか。
②市でも積極的に小学校、中学校の連携強化を図っているが、その到達すべき姿をどのように考えているか。

答弁 ①公債費が前年度と比較して約4億5千万円減少した。平成27年度はさらに5億円の減少を見込んでおり、これまでの債務抑制の効果があらわれていると

質問 ①新たな市民負担増はあってはならないと考えるがどうか。
②経済の地域内循環について、どのように考えるか。
③教育のあり方で中心的な課題は何か。

答弁 ①下水道料金を除く公共施設の使用料や公共交通の運賃等の料金改定は行わず、市民生活には影響が出ないようにしたい。

質問 ①公共施設の再配置や統廃合は、まちづくりの重要なポイントであり、市民とともにプランニングを進める必要がある。今後どう進めていくか。
②小平市でもひきこもりや若者の就労等の課題があり、その対応が求められている。若者支援の市の取り組みについて考えを伺う。

答弁 ①今後多くの公共施設が老

質問 ①市長が考える新しい地域自治とはどういったものか。
②参加と自治による活気に満ちた都市とは具体的に何を指し、何が重要と考えているのか。

答弁 ①これまでは自治会等の地域団体を主体に地域の自治が担われてきたが、自治会の加入率は低下の一途をたどり、自治会だけでは地域の自治が十分に担えない状

質問 ①市民生活に影響ある国際関係に対する状況認識は。
②子どもたちが伸び伸びと明るく育つことができる学校現場での環境づくりの方向性と、現段階における事業展開とその質の評価は。

答弁 ①世界の経済情勢は日本にも大きな影響を及ぼしている。経済政策は国の役割ということになるため、基礎自治体としては市民

質問 ①新たな市民負担増はあってはならないと考えるがどうか。
②経済の地域内循環について、どのように考えるか。
③教育のあり方で中心的な課題は何か。

答弁 ①下水道料金を除く公共施設の使用料や公共交通の運賃等の料金改定は行わず、市民生活には影響が出ないようにしたい。

質問 ①公共施設の再配置や統廃合は、まちづくりの重要なポイントであり、市民とともにプランニングを進める必要がある。今後どう進めていくか。
②小平市でもひきこもりや若者の就労等の課題があり、その対応が求められている。若者支援の市の取り組みについて考えを伺う。

答弁 ①今後多くの公共施設が老

質問 ①市長が考える新しい地域自治とはどういったものか。
②参加と自治による活気に満ちた都市とは具体的に何を指し、何が重要と考えているのか。

答弁 ①これまでは自治会等の地域団体を主体に地域の自治が担われてきたが、自治会の加入率は低下の一途をたどり、自治会だけでは地域の自治が十分に担えない状

質問 ①市民生活に影響ある国際関係に対する状況認識は。
②子どもたちが伸び伸びと明るく育つことができる学校現場での環境づくりの方向性と、現段階における事業展開とその質の評価は。

答弁 ①世界の経済情勢は日本にも大きな影響を及ぼしている。経済政策は国の役割ということになるため、基礎自治体としては市民

質問 ①新たな市民負担増はあってはならないと考えるがどうか。
②経済の地域内循環について、どのように考えるか。
③教育のあり方で中心的な課題は何か。

答弁 ①下水道料金を除く公共施設の使用料や公共交通の運賃等の料金改定は行わず、市民生活には影響が出ないようにしたい。

質問 ①公共施設の再配置や統廃合は、まちづくりの重要なポイントであり、市民とともにプランニングを進める必要がある。今後どう進めていくか。
②小平市でもひきこもりや若者の就労等の課題があり、その対応が求められている。若者支援の市の取り組みについて考えを伺う。

答弁 ①今後多くの公共施設が老

質問 ①市長が考える新しい地域自治とはどういったものか。
②参加と自治による活気に満ちた都市とは具体的に何を指し、何が重要と考えているのか。

答弁 ①これまでは自治会等の地域団体を主体に地域の自治が担われてきたが、自治会の加入率は低下の一途をたどり、自治会だけでは地域の自治が十分に担えない状

質問 ①市民生活に影響ある国際関係に対する状況認識は。
②子どもたちが伸び伸びと明るく育つことができる学校現場での環境づくりの方向性と、現段階における事業展開とその質の評価は。

答弁 ①世界の経済情勢は日本にも大きな影響を及ぼしている。経済政策は国の役割ということになるため、基礎自治体としては市民

質問 ①新たな市民負担増はあってはならないと考えるがどうか。
②経済の地域内循環について、どのように考えるか。
③教育のあり方で中心的な課題は何か。

答弁 ①下水道料金を除く公共施設の使用料や公共交通の運賃等の料金改定は行わず、市民生活には影響が出ないようにしたい。

質問 ①公共施設の再配置や統廃合は、まちづくりの重要なポイントであり、市民とともにプランニングを進める必要がある。今後どう進めていくか。
②小平市でもひきこもりや若者の就労等の課題があり、その対応が求められている。若者支援の市の取り組みについて考えを伺う。

答弁 ①今後多くの公共施設が老

日本共産党小平市議団

質問 ①新たな市民負担増はあってはならないと考えるがどうか。
②経済の地域内循環について、どのように考えるか。
③教育のあり方で中心的な課題は何か。
答弁 ①下水道料金を除く公共施設の使用料や公共交通の運賃等の料金改定は行わず、市民生活には影響が出ないようにしたい。

生活者ネットワーク

質問 ①公共施設の再配置や統廃合は、まちづくりの重要なポイントであり、市民とともにプランニングを進める必要がある。今後どう進めていくか。
②小平市でもひきこもりや若者の就労等の課題があり、その対応が求められている。若者支援の市の取り組みについて考えを伺う。

虹とひかり

質問 ①市長が考える新しい地域自治とはどういったものか。
②参加と自治による活気に満ちた都市とは具体的に何を指し、何が重要と考えているのか。
答弁 ①これまでは自治会等の地域団体を主体に地域の自治が担われてきたが、自治会の加入率は低下の一途をたどり、自治会だけでは地域の自治が十分に担えない状

みんなの党小平の会

質問 ①市民生活に影響ある国際関係に対する状況認識は。
②子どもたちが伸び伸びと明るく育つことができる学校現場での環境づくりの方向性と、現段階における事業展開とその質の評価は。
答弁 ①世界の経済情勢は日本にも大きな影響を及ぼしている。経済政策は国の役割ということになるため、基礎自治体としては市民